

神戸市歴史公文書館デジタル展示 HP 制作及び運用保守業務委託 仕様書

1 件名

神戸市歴史公文書館デジタル展示 HP 制作及び運用保守業務委託(以下「本業務」という。)

2 契約期間

契約締結日から令和8年3月 31 日

3 履行場所

神戸市が指定する場所

4 目的

本業務は、神戸市(以下「甲」という。)が令和8年6月に開館を予定する神戸市歴史公文書館整備の一環として、所蔵資料を活用したデジタル展示 HP の制作業務を受託者(以下「乙」という。)が行うものとする。このため、歴史公文書館の所蔵する資料画像や写真・映像(以下「画像等」という。)を閲覧できる HP を構築する。

なお、業務に際しては甲が策定した別紙1「(仮称)神戸市歴史公文書館整備に向けた基本的考え方」及び別紙2「神戸市歴史公文書館 展示方針」を踏まえて甲と乙が十分な調整を行い、業務を進めることとする。

5 委託業務内容

委託業務内容は、専用 HP の制作とする。また、本業務にかかる配信用サーバを確保するとともに、必要となる手続きを行うこと。

①トップページ

- 各コンテンツの詳細やデザインは、アクセシビリティとユーザビリティを踏まえて乙が提案し、甲との協議の上で決定する。
- 「資料にみる神戸のあゆみ」として以下の4種類のコンテンツを表示する。コンテンツを選択することで各ページに遷移できること。ただし、コンテンツ「映像で見る神戸市」については、館内端末(デジタルサイネージ)にのみ表示させること。
「神戸市年表」、「神戸市域の変遷」、「あの頃の神戸」、「映像で見る神戸市(※館内端末限定)」
- 各コンテンツのページ階層は別紙3「HP 階層イメージ」を参考に実現すること。

②上記各コンテンツのページ内容

神戸市年表

(内容)既存 HP「[BE KOBE 神戸の近現代史](#)」を移設・再構成すること。

神戸市域の変遷

(内容)1889～1958 年の神戸市域の合併町村及びその記録を紹介する。

- ・11 時点のうちから選択することで、各時点の市域と旧町村が表示されること。

ただし、現市域を表示させたまま重ね表示する形で、11 時点の各市域を表示することが望ましい。

- ・乙は上記各市域の作図・デザインも行うこと。
- ・各時点の市域を選択した画面から、関連画像（市域変遷関連文書等）と解説文を閲覧できること。

あの頃の神戸

（内容）絵葉書と写真及びその解説文から神戸の風景を紹介する。

- ・「戦前神戸の名所・名勝」または「神戸市の災害とまちづくり」を選択し、各画像一覧画面に遷移できること。
- ・画像一覧画面では、トピックごとのサマリーとサムネイル画像（比率 3:2）を表示させること。
- ・画像詳細ページでは画像と解説文を表示させること。

映像で見る神戸市（※館内端末限定）

（内容）神戸市政にかかる映像を閲覧する。

- ・映像の再生方法は乙が提案し、協議の上で決定する。
- ・映像の読み込み・再生にかかる時間が速やか（解像度 1080p で閲覧環境の転送速度が 10Mbps 以上を想定）であること。
- ・「映像で見る神戸市」トップページに映像一覧を示し、選択した映像を音声付きで再生できること。
- ・映像一覧では、映像のサムネイル画像に加えて、タイトル、作成年、再生時間を表示すること。
- ・映像詳細画面では、タイトル、作成年、再生時間、解説文を表示すること。

③ ページ機能

- 画像等の選択、閲覧機能
- 画像の拡大・縮小機能
- 映像の再生・一時停止等の機能
- 不具合が生じないブラウザバック機能
- 各ページからトップページへ戻る機能

6 サーバ・HP コンテンツの機能

(1) 必要機能

本業務において必要となる各種機能は、以下のとおりである。

① Web サーバ等

- データ数は、画像約 200 点、PDF ファイル 1 点、映像 17 点を想定（各コンテンツの画像・映像数と文字数は別紙3のとおり）。
- Web サーバの容量等に関しては、上記の画像等データ（画像・PDF ファイルは 1 点あたり最大 10MB、映像は 1 点あたり最大 600MB）を取り込めるものとし、その他の詳細については協議の上決定すること。ただし、乙が提案する映像の再生方法によっては、データの取り込みを行わないこともできる。
- 公開に必要なドメインについても併せて取得すること。
- 表示する画像等データにおいては、当初、甲が提供するデータを取り込むこと。なお、提供するデータは次の形式とする。提供したデータは、必要であれば乙が別形式に変換してアップロードすることができる。

(画像の形式: jpeg/jpg/gif/png/bmp/tif/tiff/pdf)

(映像の形式: mp4/mpg/avi/mov/wmv)

- Webサイト全ページについて、SSL/TLS暗号化処理を行うこと。

② コンテンツ

- 利用者が以下の端末からアクセスして、コンテンツを閲覧できるレスポンシブデザインとすること。
 - ・利用者の端末(PC・スマートフォン・タブレット端末等)
 - ・館内設置のデジタルサイネージ(屋内用縦型自立式、android 搭載、32 インチタッチディスプレイ)
※デジタルサイネージの形状・サイズ詳細は別紙4のとおり。
- 利用者端末(PC・スマートフォン・タブレット端末等)からはコンテンツ「神戸市年表」、「神戸市域の変遷」、「あの頃の神戸」のみ閲覧可能とし、館内設置のデジタルサイネージは全コンテンツ閲覧可能とすること。
- トップページ及び各コンテンツページのアクセス解析機能を実装すること (google analytics のトラッキングコード埋め込み)。
- アクセシビリティが確保されていること。

(2) 利用環境

以下の環境について円滑な動作を保証し、OS やブラウザにおける今後のバージョンアップにも対応すること。
なお、iOS、Android を搭載したスマートフォン等からのアクセスも想定したレスポンシブ対応とすること。

OS	Windows 10 以降、MacOS 10 以降
ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome、Safari の本システムリリース時点の最新バージョン以降

① 利用規模

専用 HP の利用想定については、以下のとおり。

当初 HP 登録データ : 画像約 200 点、PDF ファイル 1 点、映像 17 点、各コンテンツの画像・映像数と文字数は別紙3のとおり。

専用 HP 閲覧数想定 : 約 50,000 件/月

② 稼働環境

原則、本業務の稼働に必要なとなる全ての環境は乙において調達するものとし、その費用は委託金額の中に含めること。

(3) 信頼性

原則、障害等が発生しても影響を最小範囲に留め、復旧に係る時間が最短(半日以内を目途)となる構成とすること。

① システムの稼働時間

メンテナンスや障害復旧時を除き、24 時間 365 日稼働とする。

② 災害対策等

特別な対策を必要としない。

③ バックアップ

システムのリカバリに必要なデータのバックアップを各データの特性に応じて行うこと。

④ 情報セキュリティ

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)の「安全なウェブサイトの作り方(最新版)」を踏まえたリスク分析を実施し、必要なセキュリティ対策を行うこと。対策の詳細についてはサイバーセキュリティ基本法、神戸市役所セキュリティ基本方針、神戸市役所セキュリティ対策基準も遵守すること。

(4)テストの実施

本サイトの実際の運用以前にテスト環境を構築し、各機能が問題なく運用できることが確認できること。
また、各種テストに必要な機器、テストツール及びテストデータ等の準備については、原則として全て乙が用意すること。

(5)デジタルサイネージの設定

乙は、館内設置のデジタルサイネージにおいて、制作したコンテンツが正常に動作するように、神戸市歴史公文書館のサイネージ設置場所にて設定を行うこと。また、歴史公文書館への交通費は、乙の負担とすること。

なお、コンテンツ「映像で見る神戸市」を館内限定で閲覧できる設定にすること。

9 納品物

納品物は以下の通りとする。

#	納品物	納期
1	緊急連絡網	契約締結後 5 営業日以内
2	専用 HP 設計書 (サイトマップ・専用 HP 用設定情報等を含む)	契約締結後 1 か月以内
3	業務工程表	契約締結後 1 か月以内

なお、アクセシビリティチェック結果報告書の作成・提出は不要とする。

10 著作権

本契約に基づく成果物に含まれるソフトウェア、プログラム、及びその他の成果物に関する著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。)は、すべて甲に帰属するものとする。乙が本業務にかかる成果物を使用する場合は、甲と協議すること。

11 その他留意事項

(1) 本仕様書に記載されていない事項については甲の指示を受けること。

(2) アクセシビリティについて

以下の作成基準に配慮して各ページを制作すること。

- ① 「神戸市ホームページ作成事業者用ガイドライン」等の本市ホームページ作成に関する各種規程
- ② 総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン」(2024 年版)
- ③ 日本工業規格 JIS X8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第三部:ウェブコンテンツ」